

Twitter を活用した地域コミュニティの継承

～伝統行事をまもる意義とは～



愛媛県立三島高等学校 3年 武村拓弥

1. 課題

- ・少子高齢化社会、都市部への人口移出によるコミュニティ活動の担い手不足
→コミュニティ活動の衰退

2. はじめに

私は、幼い頃から地域行事に参加することが好きで、楽しみにしている。とくに、10月に行われる秋祭りは一年の数ある行事のなかで私が最も大切にしている行事である。それぞれの地区の氏子たちが自らの町の「太鼓台」とよばれる山車を出し家内安全や五穀豊穰、大漁を祈願し三日間地区内を練り歩く。私が住む伊予三島地区の浜町は「御座船・明神丸」とよばれる舟形の太鼓台を運行する。私は物心がついたころからこの御座船に乗り、中学生になってからは昇夫（かきふ）として参加している。私にとって秋祭りとは生きがいであり、また幅広い年代の方と交流する唯一の機会であり、刺激を受け、人間として成長させてもらっている場所でもある。

伊予三島地区の秋祭りは一度、衰退した過去を持つ。さらに現在、価値観の変化や担い手世代の減少による昇夫不足により、またも衰退の危機にある。このまま秋祭りを衰退させてよいのだろうか。また、秋祭りの様な地域コミュニティが衰退することにより、近所同士の見守りや支えあう力、連絡機能の低下など弊害も生まれる。次世代に伝統文化を継承し、その価値を見いだす、そして活用することにより地域に魅力が溢れる。地域の諸問題が解決されていく糸口はこの伝統行事の継承、さらには活性化することではないかと考える。

3. 秋祭りの歴史と我が町の御座船

「もともと秋祭りは、豊年の秋を寿ぎ、神様に新穀感謝するもので幟や提灯を掲げ、御神輿に乗った神様に黄金に実った様子を見ていただくためのもので、神輿行列には、神職をはじめ総代、幟、鉾、家舩などが列をなし、太鼓を打ち鳴らして厳粛に行われたものである。」（「写真集 伊予三島 まつりと太鼓台 想神匠」より抜粋）

と記されている。秋祭りは農耕社会において神様に恵みを感謝し、農作業を終えた百姓の娯楽だった。そして、農作業や生活において欠かせない人と人との関係を強化し結束力を高める役割だったのである。次第に庶民にゆとりが生まれ盛大なものへと変貌したのである。また伊予三島地区では遅くとも江戸時代後期頃から太鼓台の存在が確認されている。伊予三島秋祭りは、三台の御神輿のあとに御霊を授かった御座船がつき、他の太鼓台がつき従うという形態で運行する。しかし、昭和40年代頃喧嘩で太鼓台が破損したり、都会への人口移出により昇夫が不足したりと太鼓台の運行を休止する町が増え、我が町の御座船も例外ではなく運行を休止する事態となった。その後、子供太鼓台として運行されたが、真の御座船の運行ではなくなり神事から遠のいてしまったのである。それから月日が流れ御座船の存在が薄れかかったとき、かつての昇夫の方たちが「このままではいかん」と立ち上がった。昔から歌い継がれており、運行に欠かすことができない「御座船御歌」の継承と御座船の再建が始まったのである。徐々に復興させていき、ついに今年の10月、船体彫刻や飾り幕など装飾品を十数年かけて完成させ、お披露目式が開催された。お披露目式には多数の方が参加し、より地域住民の絆が深まった。

4. 私の取り組みの動機

御座船の完全復活に至るまでには資金面や自治会との調整など保存会の方たちの努力は計り知れない。そんな先輩方の地域の子どもたちに昔のような秋祭りを味あわせ、代々浜町に歌い継がれている「御座船御歌」をもう二度と失わず、次世代へと継承して行ってほしいという熱い思いを感じることができた。私も浜町の住人として、昇夫として、また後継者として御座船の再出発に向けて何か力になれない

かと考えた。そこで思い付いたのが「twitter」で御座船を紹介することだったのだ。

5. なぜ twitter を利用し情報発信する必要があるのか。

まず先に「twitter」を情報発信として選んだ理由であるが、それは利用者の年代層である。太鼓台の運営は一般的に青年団が主体となる。しかしながら、現在の浜町は高齢者が多く若者が非常に少ない。これから青年団の中心となる 20 代が 2 人しかいないのだ。そのうえ、青年団の半数近くが浜町には住んでいないという実情もある。そうしたことから、10代、20代の利用者がとても多い、さらに SNS は生活の一部となっているので自然と情報を届けることが可能なため、「twitter」を活用することにしたのだ。二度と秋祭りを衰退させないためには、私たちの様な 10 代、20 代の若者が積極的に参加することが大切なのである。

そして次に情報発信をする理由についてだが、伊予三島秋祭りで御座船は欠かすことができない存在でありながら興味関心が薄く、堅苦しいなどの悪いイメージが多かった。したがって、鼻夫である私が魅力を伝えることにより人々に良い印象を残せるはずだと思ったからである。

まずは、色んな人に御座船について知ってもらおう。そして、興味や関心を持ってもらおう。さらには、実際に伊予三島秋祭りに足を運んでいただき実物を見てもらおう。そうした外部の関心が高まることにより、町内のムードも高まり参加してくれる方が増えるのではないかと考えたのだ。

6. 活動内容

- ・情報発信専用のアカウントを作成する

→アカウント名は個人名であるが、地域の代表としての的確に情報を発信し、不特定多数の人が閲覧することを目的としているため新たに作成した。

- ・平成 28 年の 9 月の中ごろからお披露目式までの一カ月余りの期間、毎日ツイートし、リツイート機能を利用して目に入るようする。

7. 実例 (アカウント→@Hama-1023)



昭和40年代の宮入の様子
この頃はかき棒がない。
お船はだんじりの様な感じでも
人が入りかかすることができる。

#濱町明神丸



昔の横幕

現存が確認されているのが右の乙姫
と見られる幕のみ。
他の幕は何処へ??
(写真は写真集伊予三島まつりと太鼓
台より)

#濱町明神丸



昭和45年 運行休止

その後子供太鼓として再建し運行開
始
写真は四国中央市合併を記念し平成
15年に伊予三島、寒川地区の太鼓台
が一同に集結したときのもの。
子供太鼓として参加

#濱町明神丸



その為、現在の掛け布団の前に使用
していた掛け布団は愛護班の手作り
で竹虎でした。



2003の宮入りとの様子。
かき棒が4本ある!?
今より短いものが四本ついていた。

#濱町明神丸



平成11年 御座船御唄保存会結成
平成14年御座船運営委員会結成
これにより、御座船新調計画が進
む。

#濱町明神丸



たけ @Hama_1023・2016/09/12
実は新調前に使用していたこの幕は浜町の
ものではなく川原町が以前使用していたも
の...
たしか、今も集会所にあったはず...笑

#濱町明神丸



濱町明神丸の台車
平成16年に新調(だったような...)
前後にバナ付きのキャスターがついているため上下に揺らすことが可能。
しかし、船体に負荷がかかりやすく、ヒビが入ってきたため揺らしすぎると怒られる笑

#濱町明神丸



平成16年
船体彫刻、彫金新調
玉取り伝説が彫られている。
船体彫刻は川人三郎氏の作成

#濱町明神丸



平成17年新調 合田健氏作(金調)
「海龍」 掛け布団

#濱町明神丸



たけ @Hama_1023 · 2016/09/18
平成17年新調 合田健氏作(金調)
「志度の玉取り伝説」 勇送り幕

この唄をみて高祖太鼓台も高麗幕に唄を採用したとのこと...

#濱町明神丸



たけ @Hama_1023 · 2016/09/22
平成26年新調

植尻幕(漢字ちがうかも...)
常にシークレットな幕、運がよければ見えるかも...
この幕の存在を知っている人が意外と多い。
見せたいけどやめておこう笑

#濱町明神丸



たけ @Hama_1023 · 2016/09/20
平成24年新調.完成26年 合田健氏作(金調)
「浦島太郎」 横幕

24年はこの幕で運行されたが、数年かけて手直しされた。

#濱町明神丸



たけ @Hama_1023 · 2016/09/21
平成24年新調.完成26年 合田健氏作(金調)
「乙姫」 横幕
この幕も浦島さん同様に手直しされた。

#濱町明神丸



たけ @Hama_1023 · 2016/09/23
平成26年
提灯並びに装飾品、小道具1式新調。
LED化になりバッテリーの使用削減。
帆先の提灯は同じデザインで1回り大きくなった。

#濱町明神丸



たけ @Hama_1023 · 2016/09/24
御殿
23日の神事の際、三島神社でこの御殿にお御霊をうけ、運行する。
音は23日の夜、船体から降ろしこの御殿のみで神社にお御霊を返納にしていたようだ。

#濱町明神丸



たけ @Hama_1023 · 2016/09/29
蛭み立て前
実はほとんどそのまゝの状態で載入り。
※写真の場所は太鼓屋ではありません。

#濱町明神丸



たけ @Hama_1023 · 2016/10/06
平成18年
水着新調!
以前のものより色が濃くなり波がリアルになった。
この年から22日23日両日統一に参加。
22日統一終了後子供太鼓



たけ @Hama_1023 · 2016/09/19
平成17年新調
阿吽の昇龍 平成19年新調
上野彫刻新制作
ここだけの話、横幕の方の阿吽の昇龍のひげ?角?は何度か折れる。

#濱町明神丸



たけ @Hama_1023 · 2016/10/05
近年の運行情報
21日 子供太鼓として運行。ほぼ、夕方から。氏参りは人だけ。金子→大王→神社前
22日 午前中は町内運行。午後からは統一寄せに参加
23日 神事
21日22日が休日の年は具上の森の翠や松柏まで運行した年もある。



たけ @Hama_1023 · 2016/09/27
昇夫服装
23日青年団は長襦袢に雪駄!
既製品ではなくオーダーメイドで作る人が多い。7万以上~



たけ @Hama_1023 · 2016/09/25
昇夫服装 (法被)
15~20年前くらいに新調
背中には屋号の海龍



たけ @Hama_1023 · 2016/09/28
内部をチラ見せ2
運行時は子供のみまり場。
座席用の板がついており小さいが太鼓もある。

#濱町明神丸



たけ @Hama_1023 · 2016/10/02
準備いってきました!
のほり旗新調したそうで、是非ツイートしてくれと...笑
4枚目の写真のお礼は大山祇神社で授かってきたもので、船体に取り付けるらしいです!
掛け布団は修復されてなかった...



たけ @Hama_1023 · 2016/10/03
23年前に船体にコンセントが設置され、夜太鼓の準備が楽になったとともに、配線がぐちゃぐちゃで危なく以前は夜太鼓時、子供は動くなと言われていたがその心配もなくなった。

#濱町明神丸



たけ @Hama_1023 · 2016/09/27
10月9日 (日)濱町明神丸のお披露目、入場式、餅投げが行われます。
日程は次のとおりです。中筋太鼓台のお披露目式と被ってしまいますが、多数のご参加よろしくお願いします。



たけ @Hama_1023 · 2016/10/23
コマ爺と明神丸
#濱町明神丸





8. 活動を実施しての反響

リプライやダイレクトメッセージから興味を示してくれた方がいた。また、フォローの輪が少しずつ広がってきている。これからも継続的に毎年実施していく。

町内の方も私の活動を応援して下さい、さらに詳しい情報や私がまだ知らなかったしきたりなど教えていただき、認めて下さったので実施してよかったと思う。

9. 最後に

近年、プライバシー意識の高まりや地域への愛着、帰属意識の低下などにより隣近所との付き合いを好まない人が増えていると聞いたことがある。昔とは価値観や文化も変わり、生活の利便性が向上し、ひとりでも生きていける世の中となったのは事実である。しかしながら、核家族化による高齢者の孤独死や子どもを狙う犯罪や事故などが増えてきているのも事実ではないのか。また、数十年内に愛媛県でも被害を被ると予測されている南海トラフ地震などによる災害時の対応など、これからますます地域住民の結束力が必要とされてくるのではないだろうか。普段から地域行事に積極的に参加することで、地域のコミュニティを強化し結束力を高めておくことができる。そうすることで、子どもからお年寄りまで安心して暮らせる街となり、かつて以上に活気ある街にすることができる。

今回の私の活動だけで地域が良くなるとは思っていない。もちろん、継続的に続けることで効果があるとは信じているが。今回は「太鼓台」を軸に地域の繋がりについて考えたが、あらためて秋祭りは地域活性化の原動力となる活動だと思った。子どもからお年寄りまで、さらには男性、女性多くの方が力を合わせて一つの太鼓台を運営する。一年で最も人の繋がりを考えることができるときではないだろうか。地域問題を解決する上で何よりも大切なのは、人と人のつながりであり、さらには行動することを行政や専門家に全てまかせるのではなく、そこに住んでいる私たち自身が当事者意識を持って問題点を見つけ、主体となって行動することだと考える。そして、自分自身がこの街をもっともっと好きになる必要があると思う。人間は愛するもののためなら、すばらしい力を発揮することが可能である。

私は、この街が好きだ。先輩方から受け継ぐ「御座船」とその歌で地域の絆を深め、魅力あふれる活気ある街にしていきたい。

社会共創学部コンテストの関係者様

このような企画を与えてくださり、また最後まで目を通してくださりありがとうございました。